

南・緑ブロック学習会

平成 30 年 10 月 2 日



みなみ先生
採用 4 年目
若手世代

第 2 回南緑ブロック学習会が南区千鳥小学校で行われました。

今回は、①学芸会・学習発表会の台本を持ち寄っての情報共有、②通級指導教室見学、③学級経営についてのトークライブの 3 部構成でした。

みどり先生
採用 8 年目
ミドル世代



1 学芸会・学習発表会の台本について情報共有



台本選びや学芸会に向けて準備していくことなど、みなさんのご意見が聴けてとても参考になりました。

学校や学級の取り組み方がそれぞれだから、同じ演目でも違った演出の方法がありますね。



でも、みどり先生、特別支援学級の子どもたちは、学級独自で演目をするのと、同学年の通常の学級の演目に一緒に参加するのと、どちらがいいのでしょうか。



子どもたちや学級の実態に応じて、ねらいを明確にもつことが大切です。どちらがいいか悪いかというより、表現する楽しさや仲間との達成感を味わうためには、どういう参加の仕方がいいのか、どんな演目内容がいいのか、子どもを中心に考えていくことが重要ですね。

同学年の通常の学級への交流及び共同学習としての参加をしている学校も多くありました。人数が少ないと特別支援学級独自の演目は難しいこともあります。

台本を作るときに大切にしている視点や演出の工夫の仕方、物語の内容を子どもたちの実態に応じて変更することなど、参加者のみなさんと共有することができました。



【台本を参考にして話し合う様子】

2 通級指導教室見学

千鳥小学校の通級指導教室「つばさ」の教室を見学させていただきました。通級指導教室とは、どのような学びの場で、どのような授業が展開されているのか、教材教具も含めて指導内容を千鳥小学校 通級指導教室担当の安藤英吾先生にお聞きしました。

教室に入るなり、参加者のみなさんが驚きました。



なに?!
この教室?!

教室の中には大きな観葉植物がありました。「緑」があることでリラックス効果が期待できます。子どもたちの気持ち落ち着くように様々な工夫が考えられていました。また、一人一人が学習課題を明確にもち、主体的に取り組むための工夫や様々な教材教具を紹介していただき、参加者のみなさんの目はキラキラしていました。



【見学の様子】

すてきな教材教具☆



すてきな教室☆



3 学級経営について（千鳥小通級指導教室担当安藤先生・大高北小特別支援学級担任鉄井先生）

通級指導教室や特別支援学級での実践を通して、「学級経営」についてトークライブを行いました。

個別



集団



特別支援教育では、個別の教育支援計画や指導計画などの観点から「個別」的なアプローチが重要視され、集団的な「学級経営」という視点が論じられることが少ないのではないのでしょうか。子どもたちにとって集団の難しさもありますが、少人数（特別支援学級）だからこそできる集団での取り組みや意図的な教師からの関わりや友達同士の関わりで「よい個が育つ学級集団」づくりを目指していきたいですね。

「個別」も大事。「集団」も大事。その学級経営の基本として「学級目標」があります。「学級目標」を飾りだけで終わらせず、4月の学級開きから常に子どもたちと一緒によりよい素敵なクラスを築いていけるように様々な実践を積み重ねていきましょう。

「少人数だからこそ輝ける子」たちですよね！

みなさんの学級目標はなんですか？その学級の目標を達成するためにどのような取り組みをしていますか？

★次回開催予定★11月6日（火）18：30～南区 南養護学校分校
「交流及び共同学習の理解を深める～先生、上手な交流の方法を教えてください～」

- 施設見学【南養護学校分校・岩井先生】
- 宝小学校と南養護学校分校との交流活動の様子【宝小学校・辻先生】
- 各学校の交流及び共同学習についての情報共有【南養護・高柳先生】

文責：鉄井史人 イラスト：安藤英吾